

常任委員会審査状況

9月定例会に上程された議案を各委員会に付託して審査を行いました。9月9日と22日に予算決算委員会、11日に文教環境委員会・分科会及び産業建設委員会・分科会、12日に総務委員会・分科会及び生活福祉委員会・分科会、16日に文教環境委員会・分科会をそれぞれ開催しました。

総務委員会

審査のポイント（議案第45号）

「公金の収納及び支払の事務を取り扱う金融機関の指定について」

(問) 本市の公金の収納及び支払の事務を取り扱う金融機関については、昭和39年3月の議決を経て、昭和40年度以降、株式会社百五銀行と株式会社三重銀行が2か年ごとに交代しており、その交代時期は4月1日であるが、今回その交代時期を10月1日に変更し2行に再指定するものである。これについての協議はいつごろから行っていたのか。

(答) 2行との協議については、ここ2～3年の間に行ってきた。



鈴鹿市指定金融機関

文教環境委員会

審査のポイント（議案第41号）

「工事請負契約の変更について」

(問) 現在建設中の第二学校給食センターの工事請負契約に関する業務単価の値上がり・資材の値上がりなどについて、どの程度の上昇率があれば変更契約条項が適用されるのか。今回の変更金額の中で、資材部分と人件費の部分の内訳はどうか。また、今回の値上げ分が下請け業者の人件費にまで反映されたかを把握しているのか。

(答) 1%以内の上昇であれば請負者の負担であり、それ以上の上昇であれば工事請負契約書中の物価スライド条項を適用し変更契約を締結する。資材部分と人件費の部分の上昇率は、鉄筋工事が14.7%・型枠工事で21.6%・鉄骨工事で12.6%の資材の値上げ、労務単価は全業種平均で7%の上昇であり、合計で約3,800万円の増額となった。下請け業者の人件費については、工事の人員体制もさまざまであり、下請けまで賃金がどのように支払われているかは把握していない。

生活福祉委員会

審査のポイント（議案第38号）

「鈴鹿市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の制定について」

(問) 全校に学童保育施設の設置が考えられているが、どうか。学校から離れた場所に学童がある場合、たとえば飯野小学校や栄小学校は、安全面を考えると学校の空き教室の利用など、教育委員会と福祉部局でしっかり連携して体制を考えてほしいが、どうか。

(答) 施設の老朽化など移転をする際には、教育委員会事務局とも調整し学校の敷地内もしくは敷地に近いところで、民地を借りるとか用地を取得するなどにより、学校から近いところで児童や保護者の安心が保証できるように対応していきたい。飯野の給食センター跡地の利用方法についても教育委員会事務局と協議し、場合によっては児童の安全性の確保から、今の学童の場所から学校の近くに変えていくことも検討していきたい。教育委員会事務局と密接に協議したい。